

近畿管内における農林水産物・食品の輸出の状況と取組



令和7年7月
農林水産省
近畿農政局

目次

1	近畿の主な輸出品目マップ	1
2	近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況	2
(1)	国別・地域別の輸出額	3
(2)	ーア 品目別の輸出額	4
(2)	ーイ 品目別輸出額の主な増減	5
(3)	港・空港別の輸出額	6
3	近畿農政局管内における輸出の取組	
(1)	GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）【登録状況・訪問診断】	7
(2)	輸出事業計画の認定状況	8
(3)	「菓子類の輸出に関する課題解決のための相談会」の開催	9
4	輸出促進関連の補助事業による支援	10
5	近畿農政局管内の優良事業者の表彰	11
6	輸出証明書等の発行	12

1 近畿の主な輸出品目マップ

兵庫県

<主な輸出品目>

米、淡路島たまねぎ、朝倉山椒、丹波黒大豆加工品、神戸ビーフ、素麺、日本酒、牡蠣、兵庫のり、鶏卵、加工食品（調味料等）

<主な輸出先>

香港、台湾、シンガポール、マレーシア、EU、米国、UAE

大阪府

<主な輸出品目>

泉州水なす、ぶどう（デラウェア）、ワイン、茶、加工食品（菓子）、清涼飲料水

<主な輸出先>

香港、マレーシア、シンポール

和歌山県

<主な輸出品目>

桃、みかん、柿、梅、ぶどう山椒、日本酒、梅酒、加工食品（果実加工品、調味料等）、水産物

<主な輸出先>

香港、台湾、中国、タイ、マレーシア、シンガポール、ベトナム、EU、米国



京都府

<主な輸出品目>

宇治茶、牛肉（Kyoto Beef 雅）、青果（京野菜、いちご、梨等）、日本酒、加工食品（菓子、調味料）、水産物（さわら、いわし等）

<主な輸出先>

香港、台湾、中国、韓国、シンガポール、マレーシア、ベトナム、タイ、欧州、米国

滋賀県

<主な輸出品目>

近江牛、米、近江の茶、湖魚、日本酒、加工食品（調味料等）

<主な輸出先>

香港、台湾、タイ、シンガポール、フィリピン、米国、EU等

奈良県

<主な輸出品目>

柿、茶、いちご、加工食品（素麺、醤油等）、日本酒、リキュール、切り枝、金魚

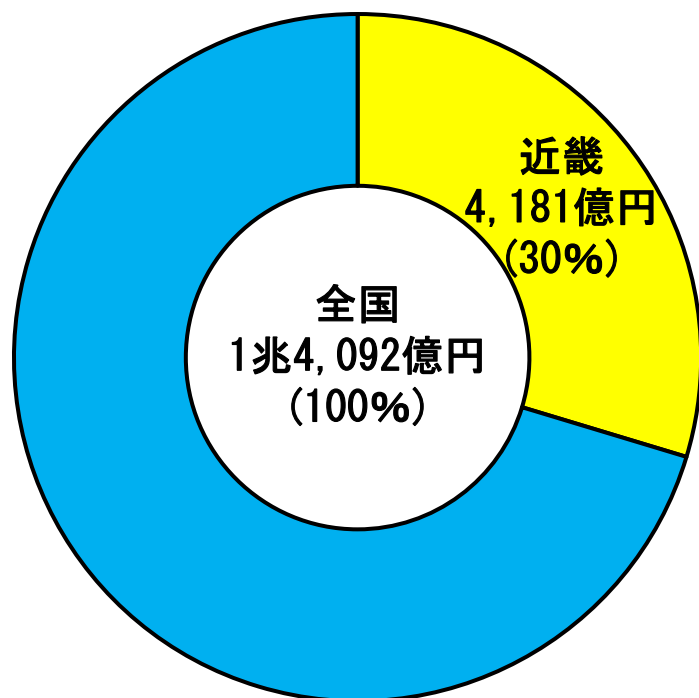
<主な輸出先>

香港、台湾、タイ、米国、EU（フランス等）、中国、韓国、ベトナム

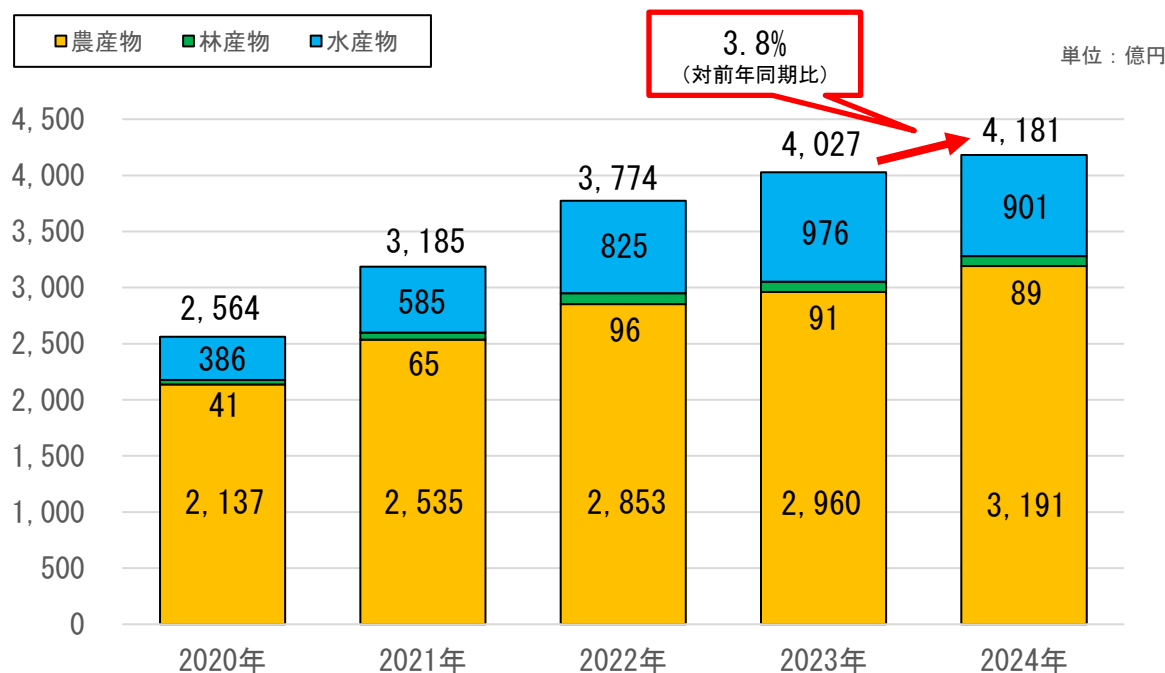
2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況

- 近畿農政局管内（滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の2府4県）の港・空港から輸出された農林水産物・食品の輸出額は4,181億円と前年同期比3.8%の増加となった。

農林水産物・食品の輸出額（2024年）



近畿農政局管内の港・空港からの輸出額の推移



出典：「農林水産物・食品の輸出実績」（少額貨物を含まない）
（注）近畿農政局管内からの輸出額は貿易統計をもとに近畿農政局で作成

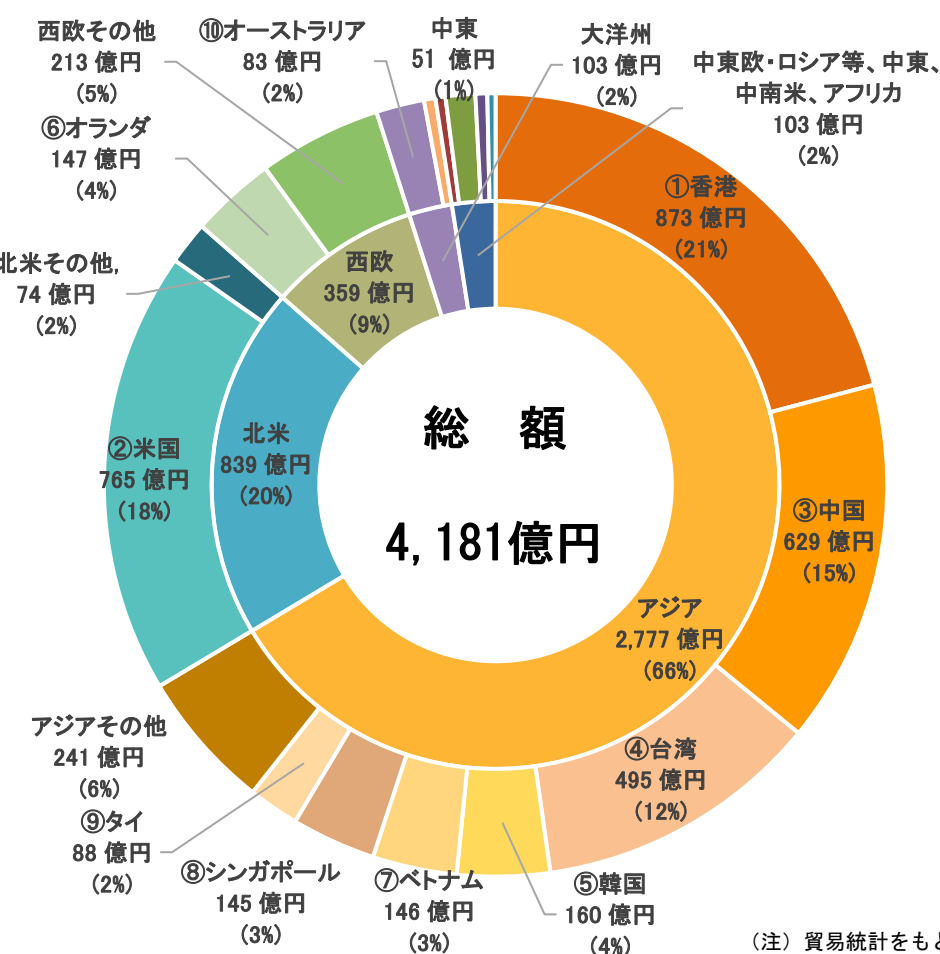
2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況

(1)国別・地域別の輸出額



○ 2024年の国別・地域別の輸出額は、アジアが約7割、北米が約2割を占め、各国・地域別の輸出額では、香港が約873億円(21%)と最も大きく、米国(約765億円、18%)、中国(約629億円、15%)、台湾(約495億円、12%)と続く。

国別・地域別の内訳（2024年1～12月）



主要な国・地域への輸出額の動向

地域	国	2024年1～12月の輸出額	割合
アジア		277,661	66.4%
	①香港	87,295	20.9%
	③中国	62,885	15.0%
	④台湾	49,498	11.8%
	⑤韓国	15,994	3.8%
	⑦ベトナム	14,557	3.5%
	⑧シンガポール	14,544	3.5%
	⑨タイ	8,782	2.1%
	アジアその他	24,107	5.8%
北米		83,924	20.1%
	②米国	76,542	18.3%
	北米その他	7,381	1.8%
西欧		35,935	8.6%
	⑥オランダ	14,673	3.5%
	西欧その他	21,262	5.1%
大洋州		10,271	2.5%
	⑩オーストラリア	8,300	2.0%
	大洋州その他	1,971	0.5%
中東欧・ロシア等		1,732	0.4%
中東		5,114	1.2%
中南米		2,029	0.5%
アフリカ		1,404	0.3%
合計		418,070	100.0%

(注) 貿易統計をもとに近畿農政局で作成

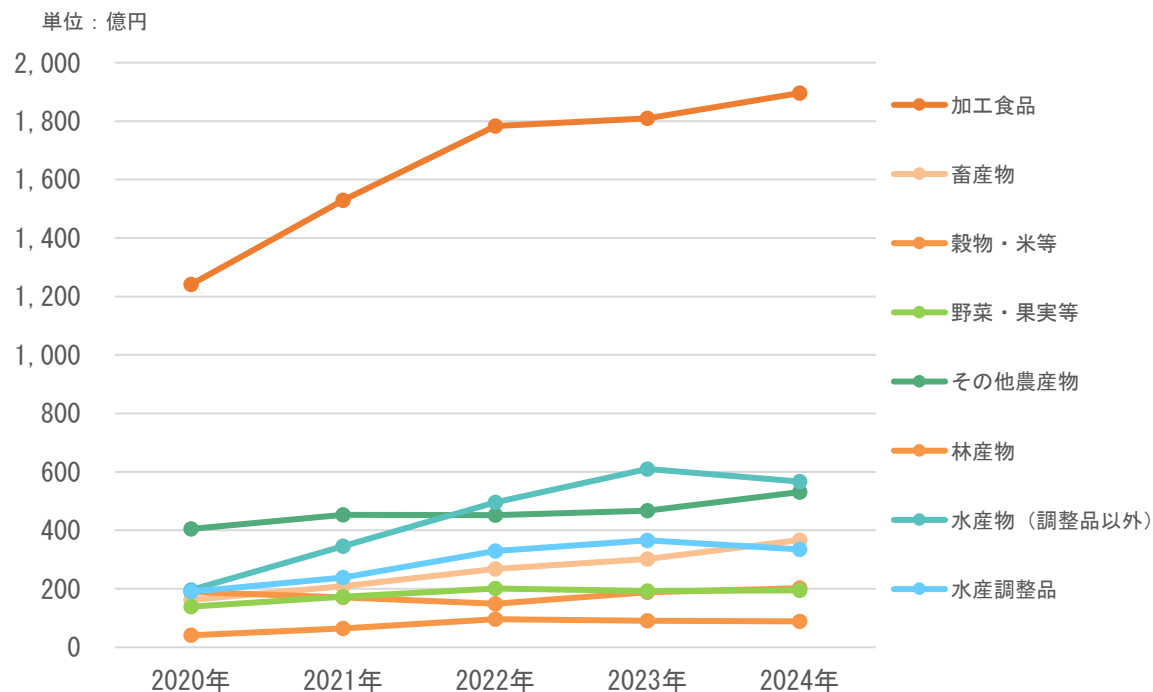
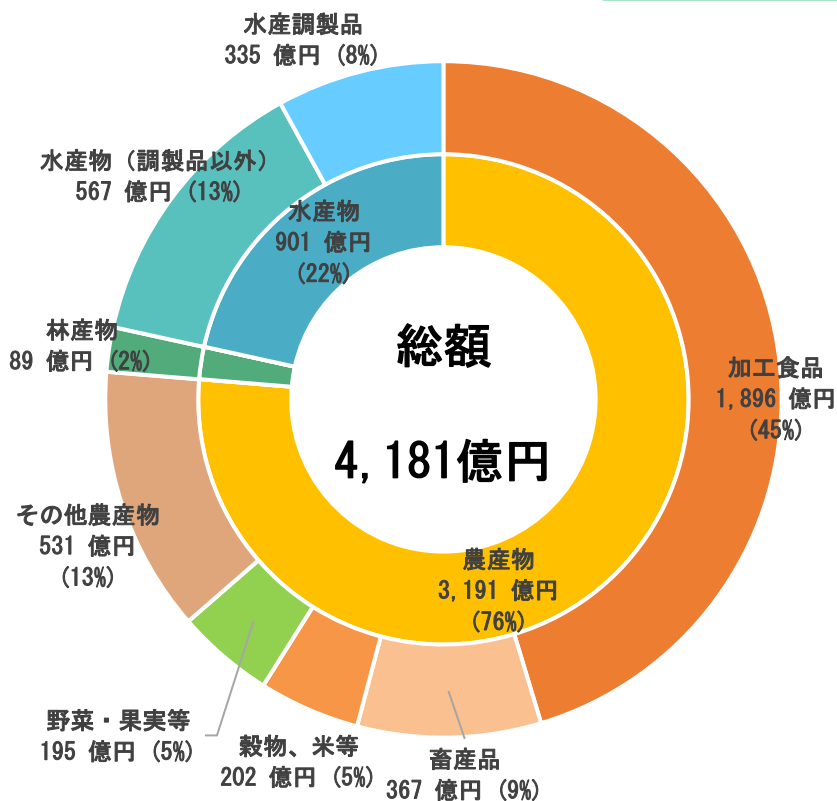
2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況

(2)ーア 品目別の輸出額



- 2024年の品目別の輸出額は、農産物が約4分の3を占めている。
- 特に加工食品が45.3%、続いて水産物（調製品以外）が13.6%、その他農産物（緑茶、花き等）が12.7%と多い。

品目別の内訳（2024年1月～12月）



(注) 貿易統計をもとに近畿農政局で作成

2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況

(2)ーイ 品目別輸出額の主な増減

- 農産物は、全体として昨年より増加しており、特に緑茶は約45%増加している。
- 林産物及び水産物は、昨年より減少。特に、水産物（調製品除く）のうち、かつお・まぐろ類は約74%減少している。

近畿農政局管内の港・空港からの品目別輸出額

単位：億円

品 目		2024年	前年増減比 (%)	2023年
農 産 物	加工食品	1,895.9	4.8	1,809.5
	アルコール飲料	591.7	0.7	587.6
	日本酒	141.3	2.2	138.3
	ウィスキー	303.4	▲ 1.1	306.8
	焼酎(泡盛を含む)	6.0	▲ 7.6	6.5
	ソース混合調味料	157.2	13.6	138.4
	清涼飲料水	238.4	12.2	212.6
	菓子(米菓を除く)	109.3	7.4	101.8
	醤油	39.4	18.6	33.2
	米菓(あられ・せんべい)	20.7	5.0	19.7
	味噌	12.7	22.9	10.3
	畜産品	367.0	21.6	301.9
	畜産物	254.1	27.6	199.2
	牛肉	173.4	32.4	131.0
	牛乳・乳製品	52.7	22.5	43.0
	鶏卵	23.0	16.8	19.7
	豚肉	2.3	22.1	1.9
	鶏肉	2.8	▲ 23.6	3.7
	穀物等	202.2	7.4	188.3
	米(援助米含む)	10.3	3.3	10.0
	野菜・果実等	194.6	0.7	193.2
	青果物	138.0	▲ 1.8	140.5
	りんご	26.1	4.0	25.1
	いちご	20.3	▲ 11.5	23.0
	ぶどう	30.8	5.5	29.2
	ながいも	7.1	▲ 0.5	7.2
	かんしょ	9.9	4.8	9.4

品 目				2024年	前年増減比（％）	2023年
農産物 （続き）	野菜・果実等 （続き）	青果物 （続き）	もも	15. 2	16. 9	13. 0
			かんきつ	6. 5	14. 4	5. 7
			なし	7. 1	▲ 20. 0	8. 8
			かき	6. 5	0. 4	6. 4
	その他農産物			531. 0	13. 7	467. 2
	たばこ		77. 1	▲ 3. 8	80. 2	
	緑茶		109. 9	44. 6	76. 0	
	花き	5. 2	▲ 27. 3	7. 1		
		植木等	1. 3	▲ 62. 3	3. 6	
			切り花	2. 7	6. 4	2. 5
林産物				88. 6	▲ 2. 1	90. 5
水産物	水産物（調製品除く）			566. 9	▲ 7. 1	610. 3
	ホタテ貝（生鮮・冷蔵・冷凍等）			41. 7	34. 4	31. 0
	真珠（天然・養殖）			327. 8	▲ 1. 4	332. 3
	ぶり			43. 9	0. 1	43. 8
	かつお・まぐろ類			8. 0	▲ 74. 4	31. 2
	さば			15. 6	▲ 12. 9	17. 9
	いわし			6. 3	50. 2	4. 2
	さけ・ます			0. 4	▲ 20. 1	0. 5
	錦鯉			4. 4	7. 6	4. 1
	たい			1. 0	▲ 38. 2	1. 6
	すけとうたら			0. 0	—	0. 0
	さんま			0. 1	4. 2	0. 1
	水産調製品			334. 5	▲ 8. 6	365. 9
	ホタテ（調製）			90. 0	0. 5	89. 5
	なまこ（調製）			45. 9	▲ 24. 7	61. 0
	練り製品			59. 1	16. 1	50. 9
	貝柱調製品			0. 3	▲ 58. 7	0. 8

(注) 貿易統計をもとに近畿農政局で作成

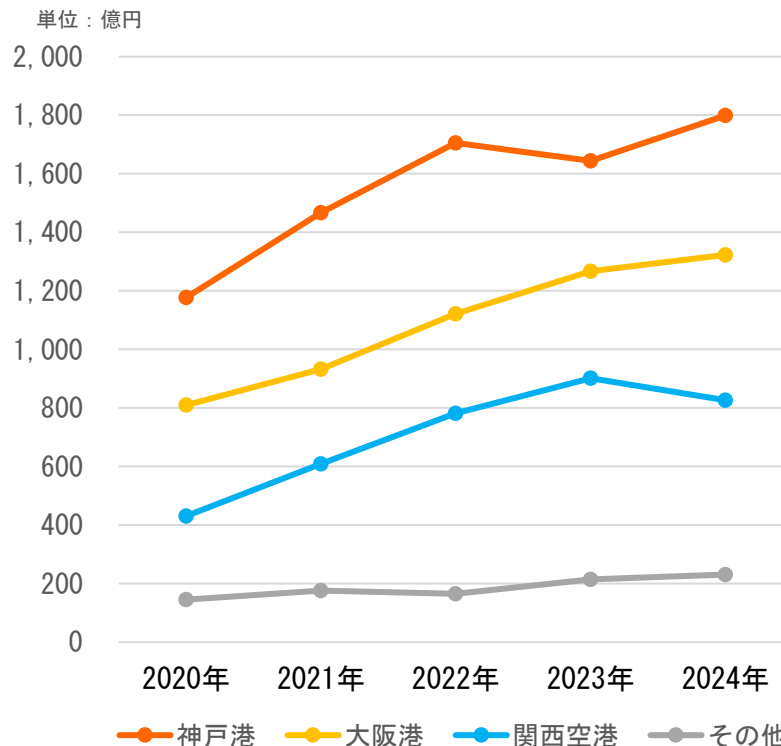
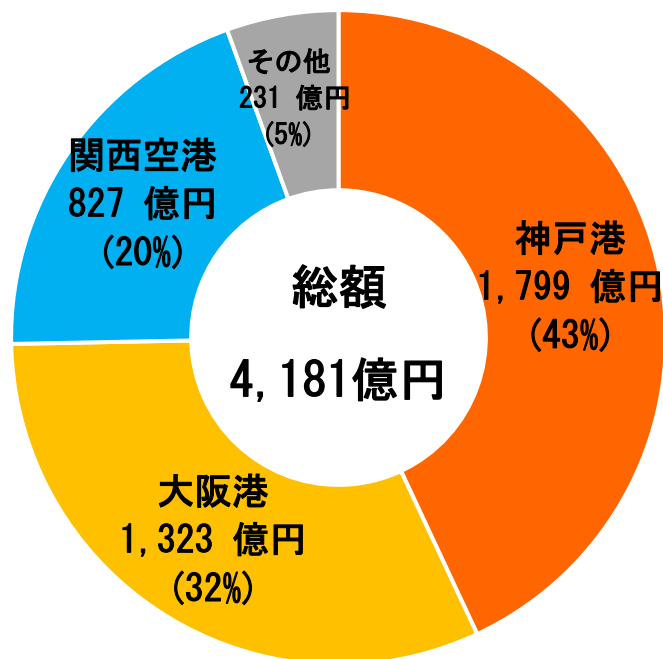
2 近畿農政局管内の港・空港からの輸出の状況

(3) 港・空港別の輸出額



- 港・空港別にみると、神戸港、大阪港、関西空港の3港で輸出額約3,949億円（94.5%）を占めており、それぞれの輸出額は、神戸港が約1,799億円（43.0%）、大阪港が約1,323億円（31.6%）、関西空港が約827億円（19.8%）となっている。

港・空港別内訳（2024年1月～12月）



(注) 貿易統計をもとに近畿農政局で作成
() 内は総額に占める割合

その他の港で輸出額が多いのは岸和田港（約104億円）
堺港（約58億円）、舞鶴港（約47億円）など

3 近畿農政局管内における輸出の取組

(1) GFP(農林水産物・食品輸出プロジェクト)【登録状況・訪問診断】



- 農林水産省は、平成30年8月31日に、農林水産物・食品の輸出に意欲的に取り組もうとする農林漁業者・食品事業者等のサポートや交流機会の創出等を図るGFPコミュニティサイトを立ち上げ。
- 近畿農政局は、ジェトロ等支援機関と連携し、平成30年11月からGFP登録者のうち、希望者に対する訪問診断を開始。令和7年6月末時点で、近畿管内のGFP登録者は1,397件、訪問診断は119回実施。

近畿管内のGFP登録者数（令和7年6月末時点）

単位：件	農林水産・食品事業者	流通事業者 物流業者等	計
全国	5,842	4,722	10,564
近畿	762	635	1,397
滋賀県	64	28	92
京都府	174	111	285
大阪府	191	305	496
兵庫県	192	133	325
奈良県	66	30	96
和歌山県	75	28	103

訪問診断の実績

- 令和2年度まで 47件（うちオンライン形式 8件）
滋賀県5件（1）、京都府12件（3）、大阪府9件（3）、兵庫県12件、奈良県3件（1）、和歌山県6件
- 令和3年度 15件（すべてオンライン形式で実施）
滋賀県1件、京都府2件、大阪府4件、兵庫県5件、奈良県2件、和歌山県1件
- 令和4年度 16件（すべてオンライン形式で実施）
滋賀県3件、京都府6件、大阪府2件、兵庫県2件、和歌山県3件
- 令和5年度 27件（うちオンライン形式 16件）
京都府8件（5）、大阪府2件（1）、兵庫県7件（6）、奈良県2件（1）、和歌山県8件（3）
- 令和6年度 14件（うちオンライン形式 11件）
京都府5件（2）、大阪府4件（4）、兵庫県3件（3）、奈良県2件（2）

※府県別内訳のかっこ書きはオンライン形式による実施

3 近畿農政局管内における輸出の取組

(2)輸出事業計画の認定状況

- 農林水産物・食品の輸出拡大のため、これらの生産、製造、加工又は流通の合理化、高度化その他の改善を図る事業に関する計画（輸出事業計画）について、農林水産大臣の認定を受けることができる。
- 令和7年6月末時点で、全国で587件の認定輸出事業計画を公表。うち近畿農政局管内は54件。

品目	都道府県	認定事業者（認定年度）
牛肉	大阪府	大阪市（大阪市中央卸売市場南港市場）（令和3年度）
牛肉	滋賀県	近江牛輸出コンソーシアム（令和4年度）
牛肉	京都府	京都市中央食肉市場コンソーシアム（令和5年度）
牛肉	兵庫県	神戸食肉輸出コンソーシアム（令和5年度）
牛肉	兵庫県	和牛マスター輸出拡大コンソーシアム（令和4年度）
牛肉	兵庫県	三田食肉センター輸出拡大コンソーシアム（令和6年度）
もも	和歌山県	和歌山県農業協同組合連合会（令和4年度）
かんきつ	和歌山県	和歌山県農業協同組合連合会（令和4年度）
イチゴ、柿	奈良県	奈良県（令和6年度）
柿	奈良県	奈良県農業協同組合（令和4年度）
柿	和歌山県	和歌山県農業協同組合連合会（令和4年度）
切り花	奈良県	奈良県枝物輸出促進協議会（令和3年度）
茶	京都府	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会 宇治茶部会（令和4年度）
緑茶	京都府	株式会社辻利一本店（令和4年度）
茶	京都府	株式会社丸宗（令和6年度）
抹茶、調製食料品	京都府	株式会社高田通泉園（令和6年度）
抹茶	京都府	D-matcha株式会社（令和6年度）
抹茶、清涼飲料、緑茶調整品	京都府	株式会社中村藤吉本店（令和6年度）
有機茶・抹茶	京都府	株式会社播磨園製茶（令和4年度）
茶	滋賀県	一般社団法人滋賀県茶業会議所（令和4年度）
コメ	滋賀県	全国農業協同組合連合会滋賀県本部（令和4年度）
コメ	滋賀県	滋賀蒲生町農業協同組合（令和4年度）
米穀（無洗米）	大阪府	津田物産株式会社（令和7年度）
コメ	兵庫県	阪神米穀株式会社（令和6年度）
養殖マグロ、タイ、ブリ、シマアジ	大阪府	株式会社ショクシン（令和4年度）
養殖クロマグロ等	和歌山県	有限会社M&Eソリューション（令和4年度）
冷凍殻付きかき	兵庫県	株式会社播磨灘（令和4年度）
はまち	和歌山県	株式会社丸徳水産（令和5年度）

品目	都道府県	認定事業者（認定年度）
醤油	奈良県	ニシキ醤油株式会社（令和4年度）
醤油	大阪府	大醤株式会社（令和3年度）
醤油	兵庫県	足立醸造株式会社（令和3年度）
醤油・醤油加工品	兵庫県	日本丸天醤油株式会社（令和4年度）
菓子	京都府	株式会社和晃（令和3年度）
菓子	京都府	株式会社上尾製菓（令和4年度）
菓子	京都府	王子食品株式会社（令和7年度）
菓子	京都府	有限会社井津美屋（令和7年度）
コーヒーエキス、近江の茶エキス	滋賀県	ハニー珈琲株式会社（令和5年度）
調味料・加工食品・日本酒	滋賀県	BIWAKO FOOD PRODUCT輸出促進協議会（令和6年度）
レトルト食品	京都府	グリルにんじん株式会社（令和4年度）
食酢	京都府	株式会社飯尾醸造（令和5年度）
アイスクリーム	兵庫県	株式会社デザートブラン（令和5年度）
豆・昆布製品	兵庫県	フジッコ株式会社（令和5年度）
濃縮飲料ポーションバック製品	奈良県	株式会社やまと蜂蜜（令和4年度）
乾燥スープ・みそ汁	兵庫県	株式会社コスモス食品（令和6年度）
即席めん	兵庫県	イトメン株式会社（令和6年度）
乾麺	兵庫県	播州乾麺輸出拡大協議会（令和3年度）
手延べそうめん	兵庫県	兵庫県手延素麺協同組合（令和5年度）
乾麺	兵庫県	東亜食品工業株式会社（令和4年度）
みかんジュース	和歌山県	株式会社早和果樹園（令和4年度）
有機梅加工品	和歌山県	有限会社深見梅店（令和3年度）
日本酒	滋賀県	滋賀県酒造組合（令和6年度）
日本酒	京都府	「京の米で京の酒を」推進会議～京都酒米振興プロジェクト～（令和4年度）
清酒及び清酒をベースとしたリキュール	京都府	松井酒造株式会社（令和5年度）
ウイスキー	兵庫県	株式会社西山酒造場（令和4年度）

上記の輸出事業計画の詳細は、農林水産省HPに公表されています。
https://www.maff.go.jp/j/shokusan/export/gfp/yusyutsu_keikaku_kohyo.html

3 近畿農政局管内における輸出の取組

(3)「菓子類の輸出に関する課題解決のための相談会」の開催

- 近畿農政局では、管内の菓子類の輸出に取り組む際の障壁となっている課題を解決するため、「菓子類の輸出に関する課題解決のための相談会」を開催。
- 「菓子類の輸出に関する課題解決のための相談会」は、令和6年10月に3会場（京都市、神戸市、大阪市）で対面により開催し、計23事業者が参加。
- 相談会后、参加事業者は輸出に取り組み、農政局は輸出を実現するための情報提供やマッチング等フォローアップを実施。

◆菓子類の輸出に関する課題解決のための相談会

【令和6年10月22日(火) 京都(A)、10月23日(水) 兵庫(B)、10月24日(木) 大阪(C)】

菓子事業者による輸出の取組を拡大するため、事業者への事前アンケートで把握した共通の課題をテーマに、専門家からの助言や同様の課題を抱える事業者とのグループ討議を行う等、課題解決に向けた相談会を実施。

相談会開催後、参加事業者に当初の課題解決や輸出の実現に向けた取組、新たな課題の有無等を聴き取り、事業者の意向に応じて輸出訪問診断、ビジネスパートナーマッチング等のGFP登録者サービスの活用を含めたフォローアップを実施。

また、輸出に向けた人材不足の課題に関しては、プロフェッショナル人材戦略拠点と連携した人材確保のサポートを実施。



<テーマ(課題)と専門家(参加会場A・B・C)>

①「賞味期限延長」への対応

・一般社団法人食品品質プロフェッショナルズ

代表理事 広田 鉄磨 氏 (A B C)

②「品質管理・認証取得」への対応

・株式会社TODIRECT

代表取締役 武部 方貴子 氏 (A B C)

③「販路開拓」や「商社等とのネットワークづくり」

・株式会社クロスリーチ コンサルティング事業部
・ワオラボ株式会社
・栄光堂商事株式会社
・株式会社スターエクスプレス

シニアマネージャー 伊藤 尚峰 氏 (A B)
代表取締役 小粥 おさ美 氏 (A C)
執行役員統括本部長 安藤 貞敏 氏 (A)
代表取締役 山内 慎一朗 氏 (A)
部長 中川 典子 氏 (A)
営業二課課長 尾園 拓哉 氏 (B C)
グループ長 野々部 正彦 氏 (B C)
代表取締役 後藤 大輔 氏 (B)
稲上 芳郎 氏 (A B)

・国分グループ本社株式会社 海外統括部貿易事業部

・株式会社萌す
・ジェトロ大阪本部海外ビジネス推進課

<相談会で挙げられた主な課題及び専門家からの助言の例>

①「賞味期限延長」への対応

(課題) 賞味期限の延長方法がわからない。

- 障害要因を分析し、原料・配合・包材を変更することで対応可能。
- 日本と海外における食経験の違いによる官能評価基準の差を認識し、輸出先に適した賞味期限を設定することで対応可能。

②「品質管理・認証取得」への対応

(課題) 認証取得に係る資金や人員の負担が大きい。

- 設備の改善は必要だが、リスクを低減できれば資金を抑えて取得することは可能。

③「販路開拓」や「商社等とのネットワークづくり」

(課題) 有効な訴求方法がわからない。

- 商品の物語(開発までの流れ、文化や歴史)による訴求が重要。ブランディングやネーミングは、現地語ではなく、日本語が有効な場合もある。

(課題) 消費者の評価を把握できない。

- 自ら販売プロモーション施策を講じることで、商社や現地販売店と良好な関係を構築し、フィードバックを得る。
- SNSで画像や動画を発信し、現地消費者の反応を把握する。

<フォローアップの実施>

各事業者が相談会を活かした輸出への取組を行う中、農政局が取組状況や新たな課題についてヒアリングを行い、GFPの以下の取組を紹介することにより、各事業者に適した支援策を提供。

- ・専門家派遣による国際認証取得のためのギャップ(差分)審査を実施。
- ・海外展示会初出展に向けた助言。
- ・GFP登録事業者(商社・コンサル)との商談。
- ・GFPビジネスパートナーマッチングの実施。

<実施結果(事業報告書、相談会Q&A等)の公表> (近畿農政局HP)



4 輸出促進関連の補助事業による支援

- 令和6年度当初予算事業として、輸出先国規制対応支援事業を実施。
- 令和6年度当初・補正予算事業として、食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業（緊急対策事業）を実施。
- 令和6年度補正予算事業として、GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト事業を実施。

輸出先国規制対応支援事業（令和6年度当初）

日本産の農林水産物・食品の輸出を促進するため、輸出の障壁となっている施設認定や国際的認証の取得等、輸出先国から求められる規制への対応、輸出先国の規制の理解を向上させ、輸出への取組を促進するための研修の開催等に係る事業者の取組を支援。

【近畿管内で3事業者を採択】

食品産業の輸出向けHACCP等対応施設整備事業（緊急対策事業）（令和6年度当初・令和6年度補正）

食品製造事業者等が行う輸出先国等の規制・条件（食品衛生、ハラール・コーシャ等）に対応した施設の新設及び改修、機器の整備を支援。

【近畿管内で7事業者を採択】

GFP大規模輸出産地生産基盤強化プロジェクト事業（令和6年度補正）

規制の緩やかな輸出先への依存からの脱却を図るため、地域の関係事業者で組織する輸出推進体制の下、海外の規制・ニーズに対応した生産・流通体系への転換に取り組み、国内生産基盤の維持・強化を図る大規模輸出産地のモデル構築を集中的に支援。

【近畿管内で3事業主体を採択】

5 近畿農政局管内の優良事業者の表彰

- 我が国の農林水産物・食品の輸出に関する優良な取組を広く紹介することにより輸出促進を図るため、全国の輸出に取り組む事業者のうち、特に優れた事業者に対して平成28年度から表彰を実施。
- 近畿農政局においても、農林水産物・食品の輸出に取り組む事業者の輸出意欲を喚起し、管内の輸出を促進することを目的とし、平成30年度から優良事業者の表彰を実施。

輸出に取り組む優良事業者全国表彰受賞事業者 (近畿農政局管内)

- 令和6年度
(農林水産大臣賞) 和牛マスター輸出拡大コンソーシアム
(兵庫県姫路市)
(輸出・国際局長賞) 大吉商店株式会社 (滋賀県高島市)
" チョーヤ梅酒株式会社 (大阪府羽曳野市)
- 令和5年度
(農林水産大臣賞) 株式会社クボタ (大阪府大阪市)
(輸出・国際局長賞) 株式会社ヤマサン (京都府宇治市)
- 令和4年度
(輸出・国際局長賞) 梅乃宿酒造株式会社 (奈良県葛城市)
" 津田宇水産株式会社 (兵庫県たつの市)
- 令和3年度
(農林水産大臣賞) 明石酒類醸造株式会社 (兵庫県明石市)
" 株式会社キョーリン (兵庫県姫路市)
(輸出・国際局長賞) 大京食品株式会社 (京都府京都市)
" 紀の里農業協同組合 (和歌山県紀の川市)

近畿農政局輸出に取り組む優良事業者表彰 近畿農政局長賞受賞事業者

- 令和6年度
 - ・播州乾麺輸出拡大協議会 (兵庫県姫路市)
 - ・瀬崎林業株式会社 (大阪府大阪市)
- 令和5年度
 - ・株式会社小林順蔵商店 (大阪府大阪市)
 - ・株式会社モトックス (大阪府東大阪市)
- 令和4年度
 - ・兵庫県手延素麺協同組合 (兵庫県たつの市)
 - ・ヤマサ蒲鉾株式会社 (兵庫県姫路市)
- 令和3年度
 - ・大果大阪青果株式会社 (大阪府大阪市)
 - ・株式会社銀閣寺大西 (京都府京都市)
 - ・山陽盃酒造株式会社 (兵庫県宍粟市)



全国表彰受賞事業者の
取組概要 (農林水産省HP)



近畿農政局長賞受賞事業者
の取組概要 (近畿農政局HP)

6 輸出証明書等の発行

○ 近畿農政局では、平成25年4月以降、輸出先国・地域からの求めに応じて事業者向けに輸出証明書の発行を開始しており、令和7年4月現在、以下の輸出証明書を発行している。

- ・ 原発関連証明書（中国・韓国等）
- ・ 衛生証明書（ベトナム・台湾・EU・英国・インド向け水産物、韓国向け畜産物）、タイ向けGMP証明書
- ・ 自由販売証明書
- ・ 施設認定（タイ向け食品・青果物、インド・インドネシア・ニュージーランド向け水産物）

近畿農政局管内における各種証明書の発行実績

原発関連証明書（令和元年度～令和6年度）

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
アジア	中国	25,126	36,391	40,477	42,693	28,288	21,674
	韓国	3,474	3,421	3,805	3,312	3,136	3,389
	シンガポール	44	45	0	－	－	－
	小計	28,644	39,857	44,282	46,005	31,424	25,063
欧州 (EU、EFTA等)		499	130	39	74	19	－
中東		0	0	0	－	－	－
その他		13	5	16	19	25	10
合計		29,156	39,992	44,337	46,098	31,468	25,073

※「－」は条件緩和により証明書が不要

衛生証明書（令和6年度）

- ・ ベトナム向け水産物 622件
- ・ 台湾向け貝類 263件
- ・ EU、英国向け水産物 263件
- ・ 韓国、インド等 128件

自由販売証明書（令和6年度）

- ・ 発行件数 609件
- ※特定の国向けに発行するものではない。

施設認定（令和6年度）

- ・ タイ向け食品・青果物 16件
- ・ インド向け水産物 6件
- ・ インドネシア向け水産物 5件
- ・ ニュージーランド向け水産食品 1件

タイ向けGMP証明書等（令和6年度）

- ・ 食品・青果物 25件